

神津島の火山活動解説資料（令和2年12月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1）

前浜南東監視カメラ（天上山の南西約3km）による観測では、天上山山頂部に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図2-①②）

今期間、神津島及びその周辺に震源が求まる地震は観測されず、地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図2-③~⑥、図3、図4）

GNSS 連続観測及び傾斜計による観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。



図1 神津島 天上山山頂部の状況
(12月7日、前浜南東監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

今回の火山活動解説資料（令和3年1月分）は令和3年2月8日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、東京都及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警戒等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています。

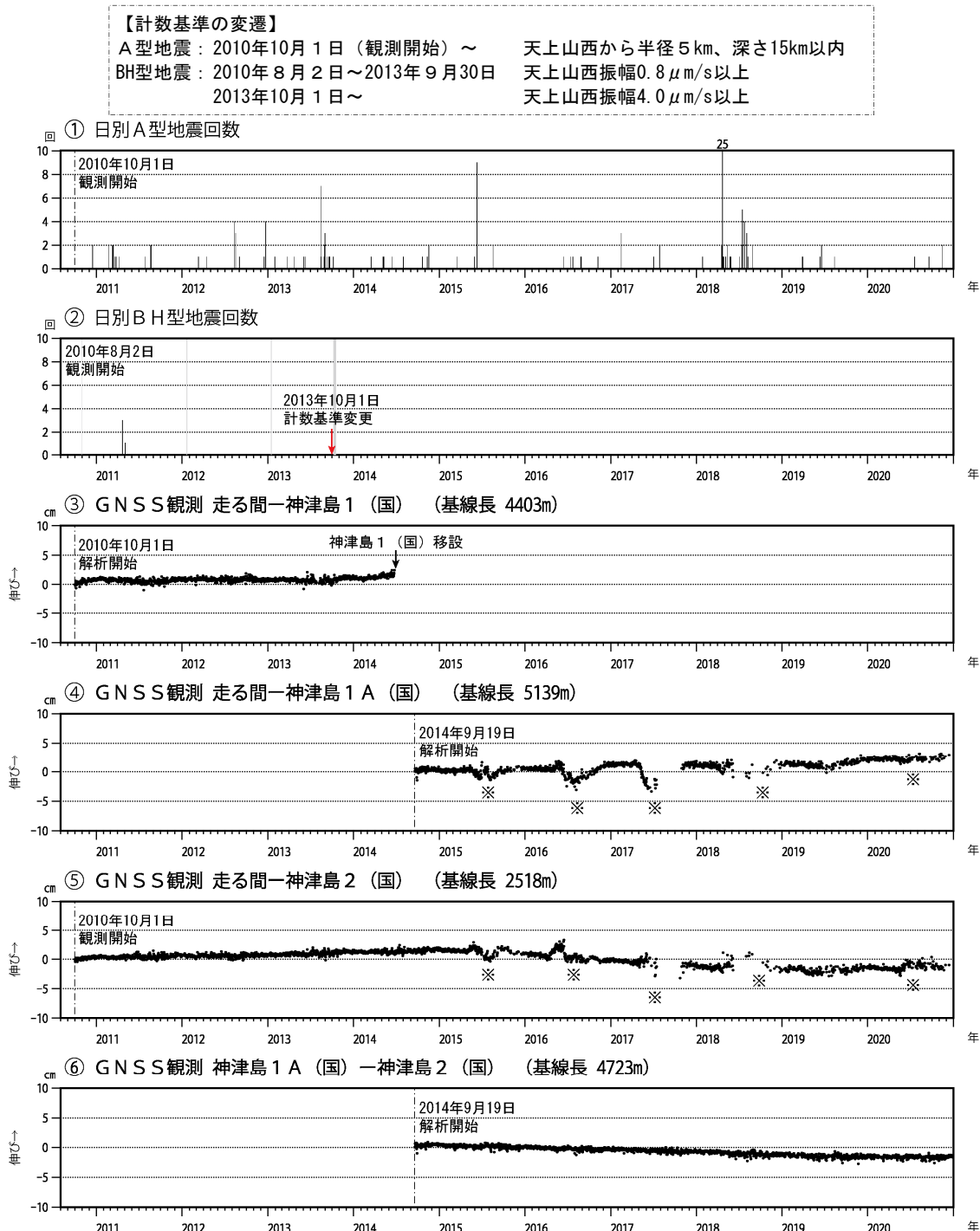


図2 神津島 火山活動経過図(2010年8月2日～2020年12月31日)

- ①：2021年1月12日現在、2020年4月18日から10月23日までの地震について、暫定的に震源精査の基準を変更しているため、その前後の期間と比較して微小な地震での震源決定数の変化（増減）が見られます。
 - ②：図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。
 - ③～⑥：図4のGNSS基線③～⑥に対応しています。空白部分は欠測を示します。
 - ④⑤：※の部分は、走る間観測点付近の植生による影響です。
- 2014年9月19日に、神津島1（国）を神津島1A（国）に移設しました。

（国）：国土地理院

- ・地震活動は低調に経過しています。
- ・GNSS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

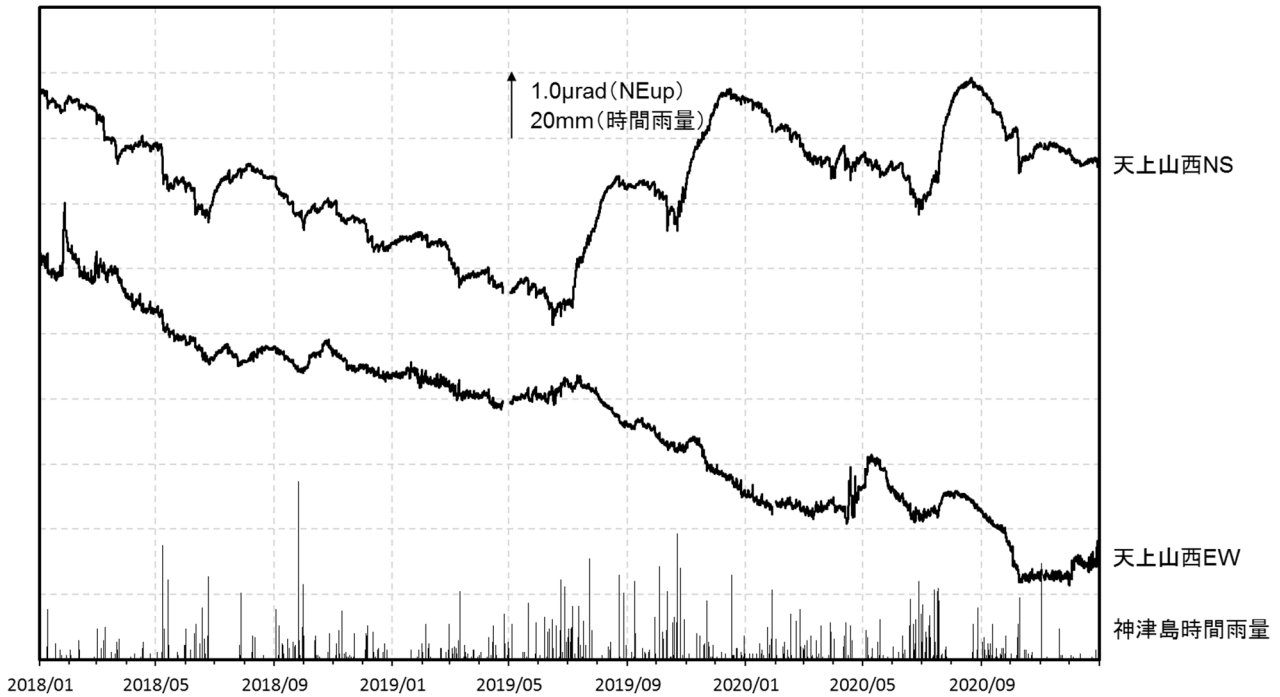
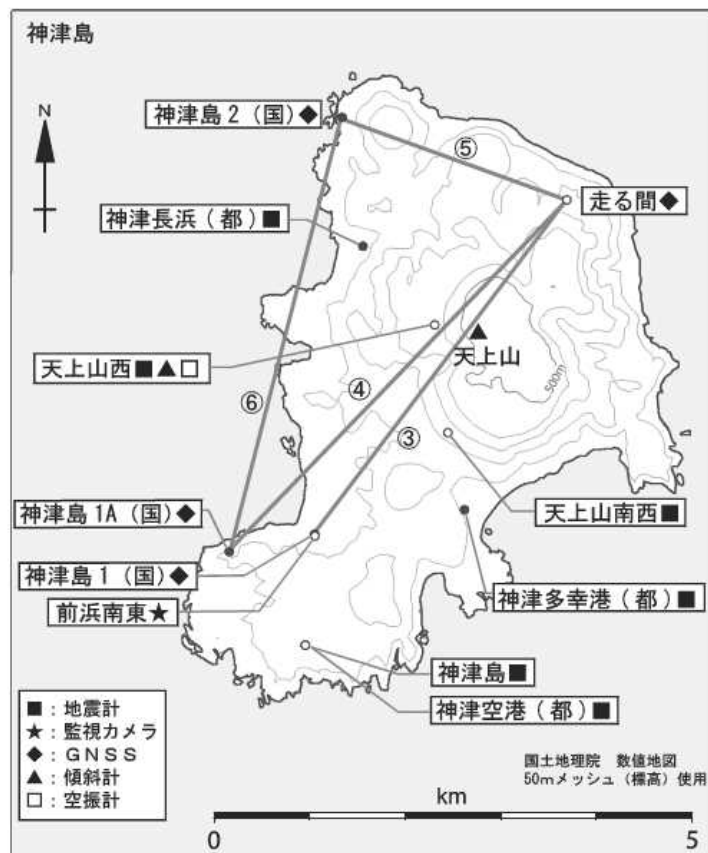


図3 神津島 天上山西観測点の傾斜変動（2018年1月1日～2020年12月31日）

地震等による一部のステップを除去しています。図中の空白部分は欠測を示します。

・火山活動によるとみられる変動は認められません。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国)：国土地理院、(都)：東京都

図4 神津島 観測点配置図

GNSS 基線③～⑥は図3の③～⑥に対応しています。

神津島1から神津島1Aに2014年9月19日移設。